

会 議 報 告 書

1 会議名	令和元年度第2回北上市子ども・子育て会議		
2 日 時	令和元年11月27日（水） 午後4時から5時まで	3 場 所	北上市本庁舎5階第1会議室
4 出席者	【委 員】 11名（別紙名簿のとおり） 【事務局】 5名（教育長、教育部長、子育て支援課長、子育て支援課長補佐、 育児支援係長） 【傍聴者】 2名（報道機関）		
1 開 会	（子育て支援課長）		
2 あいさつ	（教育長、今西会長） 委員15名中11名の出席、過半数の出席があり本会議が成立すること報告。		
3 議 事	<p>(1) 北上市認可保育施設の利用定員について【資料8】</p> <p>【説明の要旨】</p> <p>現在開所している小規模保育事業について令和2年4月から定員の1名増について事業者から協議依頼があり、基準にも合致していることから協議。合わせて、県の認可になるが、暁の星幼稚園が未移行幼稚園定員200名から、令和2年4月新制度に移行する際105名に変更するため参考までに掲載。</p> <p>【質疑、意見】</p> <p>なし</p> <p>提案どおり承認</p> <p>(2) 第2期北上市子ども・子育て支援事業計画の策定について</p> <p>【説明の要旨】</p> <p>資料1～7に沿って策定方針、人口推計値、量の見込、教育・保育事業等の提供区域等について説明</p> <p>【質疑、意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの受入を増やしていきたいのか？ ⇒ 待機児童を減らしていきたい。 ・待機児童を減らすことがゴール？ ⇒待機児童を解消することも一つだが、子育てしやすい環境にするための支援、企業へ子育てしやすい環境を整えるための働きかけ等含め、待機減らすだけが目標ではない。 ・数字の話だけか、踏み込んでどうしていくかの話までいくのか ⇒現行計画をみていただくと、保育のニーズ量のほか、学童の問題、子育て支援の各事業について出ている。1月に素案出して皆様からご意見をいただくが、供給量等について、重要なため切り出だして説明している。 		

- ・見込みより増えた場合は待機につながるか
⇒5年計画だが、情勢変化あるため前回同様中間年での見直しは行う。
- ・今後も施設を増やしていくという計画になるか
⇒0. 1. 2歳児は年度末にかけて待機が増えていく。待機解消していくための定員増、新設等必要と考える元数字として考えたい。
- ・解決策として施設整える一つの大きな視点？お金はかかるが？
⇒民間整備するものは国・県の財源を伴いながら市も支援する。
待機は、児童数が20年30年先も見据えていかなければならないが今の待機児童は喫緊の課題。中間と言わず、今回無償化もあり1年過ぎたところで見直していく必要がある。
- ・無償化によって申込はすでに増えているか？
⇒0, 1. 2歳児は非課税世帯のみで直接増えてはいないが、多子世帯は、無償のため預けて働いたほうがという考え方も少し変わってきたかもしれない。幼稚園、私立は満3歳から受入可能で、例年より早くいっぱいになったようだ。
- ・基本目標2に母子という表現があるがどうか。子育ては母のみではない。父がはじかれているような。父も子育てしたいがなかなか帰れない等。地域で、みんなで育てるという視点を打ち出すなら、母子という表現はいかがなものか。
貧困や女性の就労率向上による預け先等あるが、そこにパートナーはいないのか。
父親講座や働きやすい環境がずっと未達成。
施設整備等すぐすぐできるものではなく、両立しやすい働きやすい職場環境がすすめば、施設が増えなくてもよく、フルタイムで働ける母が増え、貧困対策の解消にもつながるのでは。
子育てしやすいしを作るなら、男性のかかわり方、預け先がそこしかないなら柔軟な働き方ができるように、市として企業に働きかけていくのか、巻き込んでいくのか、本当なら企業にこの場においてほしい。
⇒前回この目標は母子保健法という法律に基づいているだけなので、タイトルは工夫する必要がある。男女共同参画に、男性の役割、パートナーの役割の視点を深めていく示唆は、今度の提案に向けよい意見をいただいた。

提案事項の承認を確認

4 その他

次回子育て会議は1/9（木）13：30～15：00 案内は後日
素案協議いただき、1月下旬に再度会議で計画案協議いただく予定。

（教育長総括）

児童数思ったより減少、児童数推移が読めず、見極め必要。
待機児童を0にするのが最大の目標、女性の就業希望をみても受け入れ体制必要。
施設だけでなく保育士確保が重要。父親の保育、環境変えていくことも必要。企業の協力呼びかけも必要。庁内検討会議で商工部も入ることから、庁内でやれることを模索することも必要。
子どもの貧困対策においても保護者の就業についても考える必要がある。
皆様の意見、行政として対応できるものを早急に検討していく必要を感じた。
今後の会議にも協力依頼。